

令和 3 年度

嘉手納町教育課程特例校（英会話）事業報告

～屋良小学校～

1 趣旨

嘉手納手納町教育委員会では、「進取の気象・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」を目標に、「人間力豊かで、世界にはばたく人材を育むま ちかでな」の実現に向け、国際化・高度情報化など社会の変化に対応できるよう国際理解教育や情報教育を推進している。

平成 21 年 11 月 9 日付け、教育課程特例校の指定を受け「英会話科」を新設し、小 中一貫した系統的な英語教育を行うことで、国際理解・実践的英語力（コミュニケーション能力）の育成を育むことを目的として本事業を実施した。

また、小学校に「外国語活動」、「外国語」が導入され、中学校の英語教育においてはコミュニケーション力が強化されたことから、本町の目指す、「早期から英語に慣れ親しむ」、「実用的な英語力の取得」が学習指導要領に基づく教育課程へ位置づけられている。そのため令和 2 年度に教育課程特例校の「英会話科」の実施を小学校 1, 2 年生のみと変更した。

2 基本方針・目標

本町は、東洋最大の嘉手納基地を抱え、外国人も在住し、町役場への来庁者への対応等、外国人と日常的に接する機会も多く、町としても英語が話せる町民を必要としている。また、町内の学校では、今後、基地内の中学校との交流・海外ホームステイ事業も期待される。あいさつや自己紹介など日常的な英会話も含め、我が町の歴史・文化の紹介を手始めに、我が国の紹介などグローバルな視点から異文化理解を醸成する国際理解教育の推進、英語が使える日本人の育成を図るうえからも、今後益々、実践的な英会話力の育成が必要である。そこで、以下の方針・目標を定め事業推進の充実を図った。

(1) 基本方針

各学年、児童の特性に配慮した計画に基づき、早期から英語に慣れ親しませるため小学校 1, 2 年生において英会話活動を実施する。模倣の活動を好み、繰り返し練習をするパターンプラクティスも喜んで受け入れるこの時期には、身振り、手振りや英語のリズムに合わせて体を動かしたり、歌やチャンツを覚えたり、楽しいゲームをしながら「英語を使う場」を効果的に設定していくようにする。

(2) 目標

- ① 英会話に興味・関心をもち、英語に親しむ。
- ② 英語を活用して自分の思いを伝えたり、英語を聞いて相手の考えを理解したりする。
- ③ 英会話の学習を通して、異なる文化に興味・関心をもつ。

<活動目標>

身近な英単語を使っての歌や遊びなどの活動を通して、英語を楽しむ。

3 英会話活動における基本的指導内容

- ・歌やゲームなどを通して、英語の発音やリズムに親しむことができる。
- ・簡単な日常のあいさつができる。
- ・1～20までの数の数え方を言うことができる。
- ・身体の各部や色、曜日、動物、果物、野菜、形などの身近なものの英単語を言うことができる。
- ・英会話体操や歌、ゲームが楽しくできる。

4 教育課程

(1) 小学校教育課程編成表(令和3年度)

		第1学年	第2学年
各教科	国語	306	315
	社会		
	算数	136	175
	理科		
	生活	92(-10)	95(-10)
	音楽	63(-5)	63(-5)
	図画工作	63(-5)	65(-5)
	家庭		
	体育	97(-5)	100(-5)
道徳		34	35
外国語活動			
総合的な学習の時間			
英会話科		25	25
特別活動		34	35
総授業時数		850	910

※時数を確保するにあたり、生活科、音楽、図工、体育から充当する。

(3)「英会話科」の評価 (外国語活動、外国語との関連を考慮)

	各学年の 英会話科 評価のポイント	コミュニケーションへの関心 意欲・態度	外国語への 慣れ親しみ	言語や文化に関する 気付き
小学校低学年	積極的な参加	簡単なあいさつ	英語の歌・ゲーム	英語の発音

5 諸調査の結果

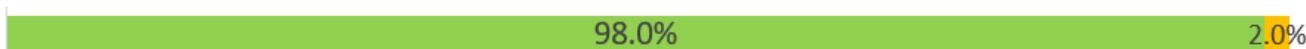
(1) 令和3年度児童への英会話アンケート調査の結果

【目標に対するアンケートの結果】

①<目標>「英会話に興味・関心をもち、英語に親しむ。」

◆質問:英会話の授業は好きですか。 ■はい ■いいえ

<1 学年>



<2 学年>



②<目標>「英語を活用して自分の思いを伝えたり、英語を聞いて相手の考えを理解している。」

◆質問:英会話の授業では、はずかしがらずに英語を話そうとしていますか。 ■はい ■いいえ

<1 学年>



<2 学年>



◆質問:簡単な英語であいさつすることができますか。 ■はい ■いいえ

<1 学年>



<2 学年>



③<目標>「英会話の学習を通して、異なる文化に興味・関心をもち。」

◆質問:英語を使って外国の人と話して見たいと思いますか。 ■はい ■いいえ

<1 学年>



<2 学年>



◆質問:外国の行事や習慣などについて勉強してみたいと思いますか。■はい ■いいえ

<1 学年>



<2 学年>



6 考察と今後の課題

低学年では、「英語の勉強は好きですか。」という質問に好きと答えた児童が9割以上おり、英会話に対する興味関心が高いことが分かる。しかし、質問②の「英会話の授業では、はずかしがらずに英語を話そうとしていますか」という質問に対し、3割の児童が「いいえ」と解答している。これは、5月から11月までALTが不在であったことから、ALTとの対話や話す英語になれることに時間を要したことも原因の一つではないかと考えられる。そのため、自分が話していることが間違えていないか不安に感じることもありうるので、今後も担任の適切な補助の元、話す機会を多く設ける必要があることも分かった。

質問③の「英語を使って外国の人と話して見たいと思いますか。」でも約8割の児童ができるようになりたいと考えていることから、英会話ができるようになりたいと意欲は高いことがうかがえる。これは、日頃の授業から教師とALT,ALTと児童が話す場を多く設けている結果であろうと考えられる。また、質問④の「外国の行事や習慣などについて、勉強してみたいと思いますか。」の結果が7割越えになっていることから、海外のことに関する興味が高くなっていることがわかった。

今後も外国語活動・外国語科の授業の中で、友達と話したり聞いたりする場を設け、コミュニケーションをとる機会を多くもつことで、英語を話す楽しさや伝わった喜びが感じられる学習を進めていきたい。